

# パティオ



## 「テーマ別改善運動」で最優秀賞を受賞

歯科衛生士 佐藤陽子

### 1 テーマ別改善運動とは？

病院職員が職場の身近な問題解決に取り組む自主的な活動として、各部門でサークルを結成、テーマを選定し、改善運動を行う取組です。

患者サービスの観点や、患者さんへの負担軽減、職員の業務改善といったように、テーマは多岐に渡ります。

1年に1回、都立・公社病院が集まり、各病院の代表サークルが発表します。

当院は初めて「最優秀賞」を受賞しました。

### 2 今年度の発表会について

豊島病院では、今年度4月より総合患者支援センターが開設されました。周術期（手術前～手術終了まで）の安全な医療を阻害する因子の一つに、全身麻酔気管内挿管時の歯の損傷事故があげられます。発生率は0.1～0.3%とされており術前の適切な診査で防ぎ得るケースがあると考えられます。周術期のリスク管理として、総

合患者支援センターの入院支援部門である入院サポートが介入する全身麻酔下手術予定患者に対して、歯科衛生士が口腔内スクリーニングを実施する取り組みを始めました。早期に口腔トラブルを発見し、歯科医師の判断のもと、患者の状況を踏まえ当院歯科口腔外科または、かかりつけ歯科への入院前の治療につなげ、安全で安心な医療の提供を目指します。

4月～10月まででスクリーニング介入件数は549件でした。そのうちリスクとなりうる動揺歯などの口腔内のリスクは9.6%にあたる53件に確認され、18件については、かかりつけ歯科への受診をおすすめしました。その結果、介入した症例では、挿管時の歯の損傷事故は発生しませんでした。

また、患者アンケートでは「役に立った」との回答が100%であり、自由意見の中にも「近いうちに歯医者にいきます」「みていただき安心しました」等あり入院前の歯科受診の動機付けと手術への安心につながりました。



豊島病院 予約センター 03-5375-5489 (紹介予約制)

予約受付時間 平日9時00分～19時00分 土曜日9時00分～12時00分

# ▶口から安全に食べることができるように

## 「口腔・嚥下サポートチーム」が発足しました！

摂食嚥下障害（食べ物を口に入れて噛んだり飲み込んだりする機能の低下）は、いろいろな疾患や加齢等の理由によりおこります。

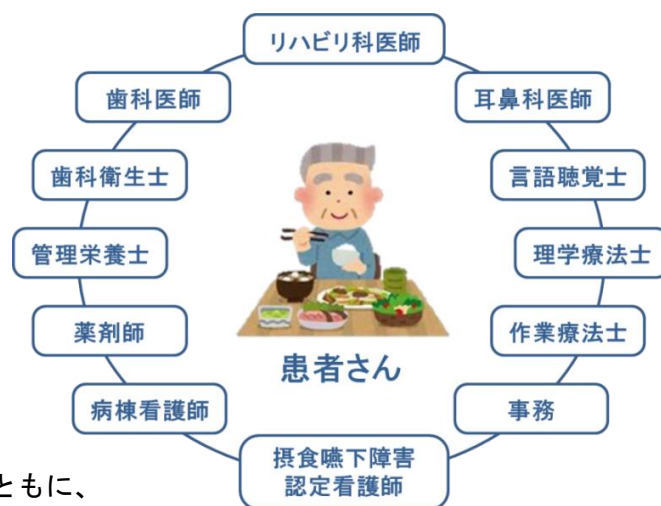
誤って唾液や食物が気管に入ってしまうことを誤嚥といい、誤嚥により引き起こされる肺炎を誤嚥性肺炎と言います。誤嚥性肺炎は、日常生活活動の低下をきたし、入院患者さんの場合は、入院期間が長期に及ぶことにもつながってしまいます。

嚥下障害の原因としては、咀嚼（噛み砕くこと）や嚥下（飲み込むこと）機能の低下、適さない食物の形や軟らかさ、食べ方（口に含む一口の量・食べる速さや姿勢など）、使用している薬剤の影響などいろいろな原因が考えられます。また、口の中をきれいに保っていないとそれだけで誤嚥性肺炎の原因となります。

そこで、誤嚥性肺炎を防ぎ、いつまでも安全に口から食べられるように、さらに、食べる楽しみや喜び、笑顔を守るために 多くの職種が集まって、「口腔・嚥下サポートチーム」が立ち上がりました。

### ●チーム活動内容

- \* 患者さん自身の歯や義歯の状態、舌の動き、飲み込みの状況などの摂食嚥下機能の評価
- \* 定期的な患者訪問を行い、適切な食事の軟らかさ・大きさ・食べる時の姿勢など食べ方のアドバイス



患者さんが安全に口から食べられるように支援するとともに、

院内職員が摂食嚥下障害に関する知識・技術・意識を高められるよう、活動していきたいと思えます。

何かお困りのことがありましたら、当院リハビリ科を受診しご相談ください。

### 【公開講座のご案内】

- 日時 3月23日（土）13時30分 開場
- 会場 板橋区立文化会館 4階大会議室
- 申込み **事前申込制** 申込先:03-5375-1234（受付時間 平日9時～17時30分 土曜9時～12時30分）
- 講演内容 「糖尿病ってどんな病気？＜内分泌代謝内科 岩嶋医長＞」  
「糖尿病と目の合併症＜眼科 武田医長＞」  
「手軽で効果的な糖尿病の運動＜リハビリテーション科 増田理学療法士＞」  
「日常生活でできること＜相馬糖尿病看護認定看護師＞」  
（講演後、体験ブース・相談ブースも設置します）

